

別表1

## 教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科グランドハンドリングコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習 I	「自律」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	1通	140	○		△
○			パソコン演習 I	PC操作の基本 ワード及びエクセルの基本操作を身に付ける事を目的とし、実践的なトレーニングを実施する。	1通	90	△	○	
○			沖縄観光	沖縄の観光地について学び、また見聞・体験を通して、歴史・文化や暮らしを理解し、観光業発展つなげる。	1前	32	○		△
○			志学 I	教育理念と学生行動指針に沿い、行動の仕方、心の持ち方、あるべき姿を深く学び考え、社会から必要とされ続ける“人財”となるべく基本的思考、行動習慣を身につけていく。	1前	26	○		
○			ビジネスマナー	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識も習得する。	1前	28	○	△	
○			エアライン実務	航空会社の業務について、旅客部門、搭降載部門についての基礎を学ぶ。空港コードや専門用語、航空法に基づく搭乗や手荷物に関する規則を習得する。	1前	44	○	△	
○			実用英語 I	英検3級程度の英語力と、航空業界で使用されている英語記載のマニュアルや実務上必要な英語力を高める。英検やTOEICの受験を通して、基礎をしっかりと身につける。	1前	78	○	△	
○			国内地理	全国都道府県の県庁所在地や各地域の空港情報、また世界遺産、文化、伝統、郷土料理等観光に関する知識を習得する。	1通	38	○	△	
○			通関・貿易実務(基礎)	通関及び貿易の流れを基礎から学び、また、輸出入手続きに必要な知識、関税算出方法、それに関する法律を学習する。	1前	26	○	△	
○			IATAディプロマ(基礎)	国際航空における貨物輸送について、時刻表の見方、使用機材の種類と特徴、運賃計算、航空危険物の該当有無などを理解し、航空貨物輸送を実践的に学ぶ。	1前	164	○	△	
○			一般学力(国語・数学・時事)	高校卒業レベルの国語、数学、社会科目の復習を行う。専門知識の習得、検定試験や就職採用試験合格の基礎となる基礎学力強化を図る。	1通	52	○	△	

別表1

## 教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科グランドハンドリングコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			グランドハンドリング実習	企業派遣講師による主要職種の概要に関する座学と空港内での実習を通して職種毎の作業手順、遵守すべき諸規則等を習得する。	1通	68	△		○
○			乙4危険物取扱者(法令・物理・化学・性質)	消防法で定める危険物・貯蔵方法についての諸規則や、別表に定める引火性液体の知識に加え、物理的・化学的知識やその性質と消化方法等について学ぶ。	1後	182	○	△	
○			エアポート実務 I	業界で使用する航空用語や、航空支援特殊車両の特性等,航空機地上支援業務に特化した専門的・実践的な知識を学び、入社後のキャリア形成を図る。	1後	20	○	△	
1年次合計				単位時間	988 時間				

別表1

## 教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科グランドハンドリングコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習Ⅱ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え、またいろいろなことに、チャレンジ精神を持って臨むことができるよう総合的に学ぶ時間として設定する。	2前	74	○		△
○			志学Ⅱ	何のために“生きるのか”“学ぶのか”“働くのか”を、社会との繋がりの中で自身の生きる姿勢や志について考え、将来の「やりがい」に繋がることを見出し、準備をする。	2前	30	○		
○			パソコン演習Ⅱ	1年次で習得したパソコン技能を土台として、パソコン検定のさらに上位級取得を目指す。併せて、企業現場で頻繁に活用される技能を習得する。	2前	58	△	○	
○			航空無線(法規)	電波法に定める無線局の許可制度や無線従事者について諸規則を学び、航空の分野でどのような運用がされているのかを理解する。	2前	40	○	△	
○			航空無線(工学)	電波の特性や無線機器に関する基礎知識の習得を目指す。	2前	32	○	△	
○			実用英語Ⅱ	実用英語の基礎を身に付ける。英語記載のマニュアル、パイロットとの無線交信の際に使用される英語の会話の基礎を身につける。その証明として英検3級以上取得を目指す。	2前	92	○	△	
○			英会話Ⅱ	1年次で学んだ基礎的日常生活の復習と、空港業務で活かされる専門的会話についても習得を目指す。	2前	48	△	○	
○			入社前トレーニング	「入社前研修」を控え、業界での専門的知識の復習や社会人として必要な知識を再度学習し、スムーズに研修に臨めるようにする。	2前	34	△	○	
○			エアポート実務Ⅱ(実務・KYT)	空港に関する関係法規とその内容を理解し、航空機地上支援業務の知識を高める。また、空港現場の事故事例について「KYT」を活用して、事故防止策を習得する。	2前	44	○		△
○			B検ジョブパス	充実したキャリアビジョンを構築するため、社会人に必要な、コミュニケーション能力、仕事の基本、人間関係、ビジネスツールなどの知識を習得し、検定3級取得を目指す。	2前	80	○	△	
	○	選1	総合学習Ⅱ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え、またいろいろなことに、チャレンジ精神を持って臨むことができるよう総合的に学ぶ時間として設定する。	2後	180	○		△

## 教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアポートビジネス科グランドハンドリングコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
	○選1		英会話Ⅱ	1年次で学んだ基礎的日常生活の復習と、空港業務で活かされる専門的会話についても習得を目指す。	2後	52	△	○	
	○選1		実用英語Ⅱ	実用英語の基礎を身に付ける。英語記載のマニュアル、パイロットとの無線交信の際に使用される英語の会話の基礎を身につける。その証明として英検3級以上取得を目指す。	2後	96	○	△	
	○選2		入社前実習	講義等で得た知識を実践の場で体験を行う事を目的とする。就職を意識し企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修を実施する。	2後	328			○
2年次合計				単位時間		860	時間		

※ 選1若しくは選2を選択

合計 25 科目	単位時間	1,848 時間
----------	------	----------